

# 「パレスチナ赤新月社医療支援事業」

## 下地 美咲 看護師 海外派遣活動状況報告

### 派遣事業の概要

日本赤十字社では、レバノンのパレスチナ難民およびその他の脆弱な地域住民に対する医療サービスの質向上を目的とし、パレスチナ赤新月社が運営する病院へ日本赤十字社の医師・看護師・事業管理要員を派遣し現地医療スタッフへ技術や知識を提供する支援を行っています。

令和5年2月1日より、日本赤十字社からの要請に基づき、レバノン共和国へ下地 美咲看護師を派遣しています。

### 活動概要

レバノン北部にあるサファッド病院にて、

- ・救急外来へのトリアージ・カルテの導入
- ・外傷の標準診療の導入
- ・多数傷病者受け入れ体制の構築
- ・広報活動 等の支援活動を行っています。



### 下地美咲さんより活動状況の報告

R5.3.22 に、サファッド病院にて、多数傷病者受け入れ訓練を行いました。

この訓練のために、日赤チームは、サファッド病院スタッフや、救急ボランティアと一緒に、準備や勉強会をかなりの時間をかけて行なってきました。

私は、日赤チームの医師やシニア看護師の指導を受けながら、主に救急ボランティアへの指導を担当しました。私にとって、このような訓練のファシリテーションを、異国の地の病院で、しかも英語で行うことは、正直とっても大変でした、、、

しかし訓練では、現地の皆が一致団結して、日赤が指導した CSCATTT の概念のもと、行動できており、訓練は大成功に終わりました。

訓練後に、救急ボランティアのリーダーから、「美咲の指示、協力のおかげで、訓練がうまくいったよ。ありがとう！」との言葉をいただき、頑張っただけなのに良かったと思いました。訓練の成功への一助を担うことができ、本当に嬉しく思います。

また、日赤看護師の活動として、外科内科混合病棟で看護師に対する OJT (on the job training ) も行っております。

活動内容は、フィジカルアセスメントの実施の推進、観察・根拠に基づいた看護記録の実施の指導などです。上から目線にならないように、かつ指導を受け入れてもらうにはどうしたらいいか、どうしたら分かりやすく指導できるだろうかと日々悩み試行錯誤しながら活動しています。その中で、スタッフとのいい関係性を構築すること、ポジティブフィードバックを行うことを意識するようにしています。

指導したことが、現場に定着するまでには、時間はかかりそうですが、

**「私の活動が、パレスチナ難民の方々の健康を守ることにつながる」と**信じています。

これからもサファッド病院スタッフと一緒に、頑張っただけなのに活動をやってまいります。